

長崎大学地域包括ケア教育センターを訪問しました。

平成 26 年 3 月 5 日（水）に長崎大学大学院医歯薬学総合研究科地域包括ケア教育センターを訪問しました。我々と同様、地域包括ケア教育センターは、未来医療研究人材養成拠点形成事業のテーマB：リサーチマインドを持った総合診療医の養成に選定された「つなぐ医療を育む先導的教育研究拠点の構築 -人と人、場と場、ケアとリサーチをつなぐ総合診療医の養成-」プログラムを運営しています。

同じように未来医療研究人材養成拠点形成事業として採択された他大学で、どのような取り組みがなされているのか、今後の展望なども含め、センター長の永田先生はじめ、スタッフの方にお話を伺ってきました。

長崎大学の取り組みの特徴は、医学生に総合診療に対して早いうちから興味を持ってもらうために、来年度から医学科の全学生に対して必修プログラムを開始する、ということです。また、地域包括ケア学習・研修の調整・補助として、各行政の関係機関や医師会、医療現場に連携調整員（保健師、介護福祉士など）を配置しているそうです。加えて、地域の関係部署と、2か月に1度学生実習運営のためのワーキングを開催しているとのことでした。長崎市全体が協力し合って総合診療医を育成していこう、という雰囲気が伝わってきました。

2月15日（土）に開催されたキックオフシンポジウムには100名以上の方が参加され、大変盛会だったそうで、プログラムに対する期待の大きさが感じられます。今後もお互い情報交換をしながら、また、切磋琢磨しながら、プログラムを推進していきたいと思います。

